# 電気を上手に安全に使っていますか？

## 快適ライフのための安全ガイド

電気の安全チェック

うさぎとカメのすごろく付き

関西電気安全委員会
関西電力株式会社

# 電気を安全に使える方が勝ち！

## うさぎとカメのかけっこすごろく

### スタート

ジャンケンでうさぎとカメを決めよう！




### ① コードが家具などの下敷きになっていませんか？

コードが傷んで過熱し、火災などの原因となる場合があるので、気をつけましょう。また、タンスや冷蔵庫などをプラグに押しつけないようにしましょう。



コードが家具の下敷きになっている！ ふりだしにもどる

うさぎはサイコロをふって、出た目の数だけすすむ カメは1こすすむ

### ② 傷んだプラグやコンセントは使わないようにしましょう。

感電やショートの原因となるので、傷んだプラグやコンセントは取り替えましょう。



傷んだプラグを発見！ すぐ取り替える 1こすすむ

### ③ アース線を取り付けましょう。

洗濯機や衣類乾燥機、エアコン、電子レンジ、冷蔵庫などにはぜひアース線を取り付けましょう。アース線は漏電した電気を大地に逃がし、感電などの危険を防ぎます。




洗濯機にアース線を取り付けた 2こすすむ

### ④ ぬれた手でプラグをさわると危険です。

ぬれた手でプラグやスイッチをさわると感電するおそれがあります。
よく手をふいてからあつかいましょう。



ぬれた手でプラグを差し込んだ！ 2こもどる

うさぎは昼寝をする 1回休み カメは4こすすむ

### ⑤ ときどきプラグを掃除しましょう。

長期間、プラグを差し込んだままにしておくとトラッキング現象（※右ページの解説を参照）が起こり、火災の原因になることがあります。プラグはときどき乾いた布などで掃除をしましょう。



いい天気なのでプラグの掃除をした 2こすすむ

うっかり花瓶を倒してプラグとコンセントを濡らしてしまう 2こもどる

ゆるんだプラグをコンセントに差し込んだ 2こすすむ

### ⑥ プラグはコンセントにしっかりと差し込みましょう。

プラグがゆるんでいると、過熱するおそれがあり危険です。
プラグはしっかりと差し込みましょう。



### ⑦ 「電気器具のそばに、花瓶や水槽などを置いていませんか？」

倒れて電気器具に水がかかると、漏電や火災などの原因となる場合があり、危険です。また、水がかかった場合は、使う前に電気工事店や販売店などにご相談ください。



### ⑧ コードはひっぱらないで！

コードが傷んで断線や過熱の原因になるので、必ずプラグを持って抜きましょう。




コードをひっぱってしかられる 1回やすみ

### ⑨ 熱を発生する電気器具は、使ったあと、必ずプラグを抜きましょう。

アイロンやドライヤー、電気ストーブなどはスイッチを切り忘れると火災の原因になるおそれがあるので、使ったあと必ずプラグを抜く習慣をつけましょう。



アイロンのプラグを抜き忘れた 1こもどる

### ⑩ タコ足配線に気を付けましょう。

テーブルタップの容量を超えて、一度にたくさんの電気器具を使うと過熱して危険です。器具が増えたらコンセントも増やしましょう。また、コードを束ねると過熱するおそれがあるのでやめましょう。



タコ足配線につまづく 1こもどる

### ゴール！

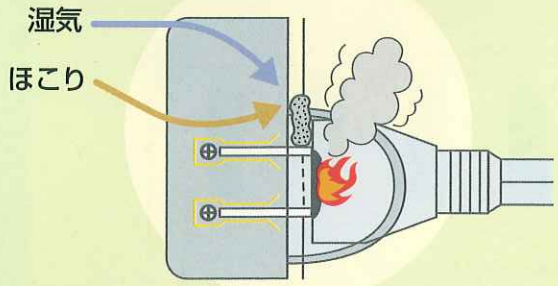



これからも電気を安全に使ってね！

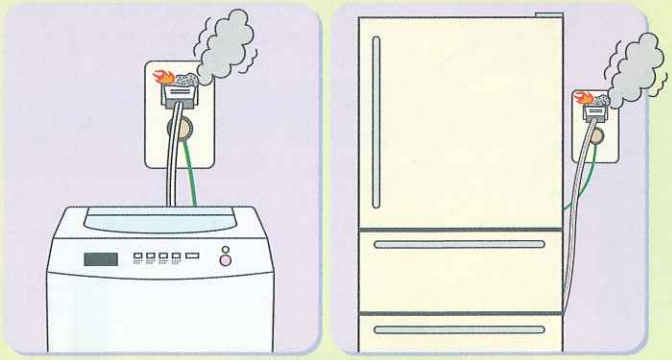
切り取って組み立てると、サイコロとコマになるよ！

# 豆知識 トラッキング現象とは…

近年、火災の原因のひとつとして問題になっている、「トラッキング現象」があります。長期間プラグを差し込んだままにしておくと、プラグとコンセントの間にホコリがたまり、そのホコリが湿気をおびるとプラグの刃の間にわずかな放電が起き、プラグが突然発火することがあります。これをトラッキング現象といいます。火災の原因になることがあるので、プラグはときどき乾いた布などで掃除しましょう。




## トラッキング現象が起こりやすい場所



洗面所や台所など、湿気が多く、湯気や水滴が直接かかる位置にあるプラグ。また、家具の裏など、ホコリのたまりやすい場所に長期間差し込んだままのプラグは要注意です。

# 安心、便利な器具のご紹介

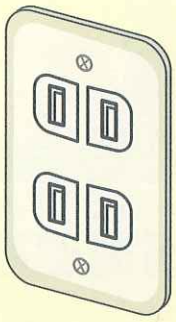
### 安心で便利な200ボルトの電気機器

200ボルト機器には、高効率なエアコン、火を使わず安心なIHクッキングヒーター、環境にやさしいエコキュートなどがあります。200ボルト機器を使うには、単相3線式の配線となります。また、その機器専用の屋内配線およびコンセントが必要となります。

エコキュート

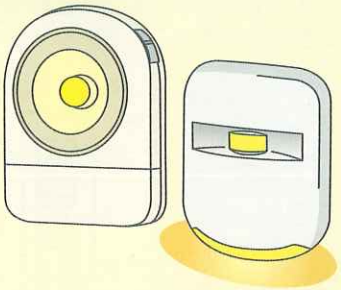
### 扉付きコンセント

小さなお子さまのいるご家庭では、扉付きコンセントをおすすめします。
コンセントにプラグ以外の物を差し込んだりすると、とても危険です。扉付きコンセントは、異物が入らないつくりになっているため、小さなお子さまのいるご家庭の事故防止におすすめです。また、冷蔵庫などにはプラグを差し込んでひねると抜けない、抜け止めコンセントが便利です。



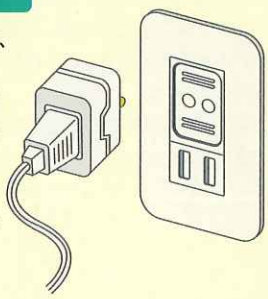
### 停電のときでも安心な保安灯

停電による暗闇は危険です。保安灯をコンセントに差し込んでおくと、停電の時は自動的に点灯します。コンセントからはずすと懐中電灯に使えるものもあります。ふだんは常夜灯としても利用できます。



### マグネットコンセント

小さなお子さまやお年寄りのいる家庭では、マグネットコンセントをおすすめします。
コードに足がつまずいても、プラグが簡単に外れるので安心です。一般のプラグをアダプタに差し込むことにより使用でき、上下左右方向へコードを引っぱるとコードがはずれやすく、まっすぐに引っぱると抜けにくいしくみになっています。



# 取扱説明書と警告表示

取扱説明書には、電気器具を安全に使っていただくための取り扱い方法や警告表示※が書かれています。
また、電気器具には警告表示のシールが貼られたものもあります。取扱説明書をよく読みましょう。

警告表示には下記のようなものがあります。

分解禁止

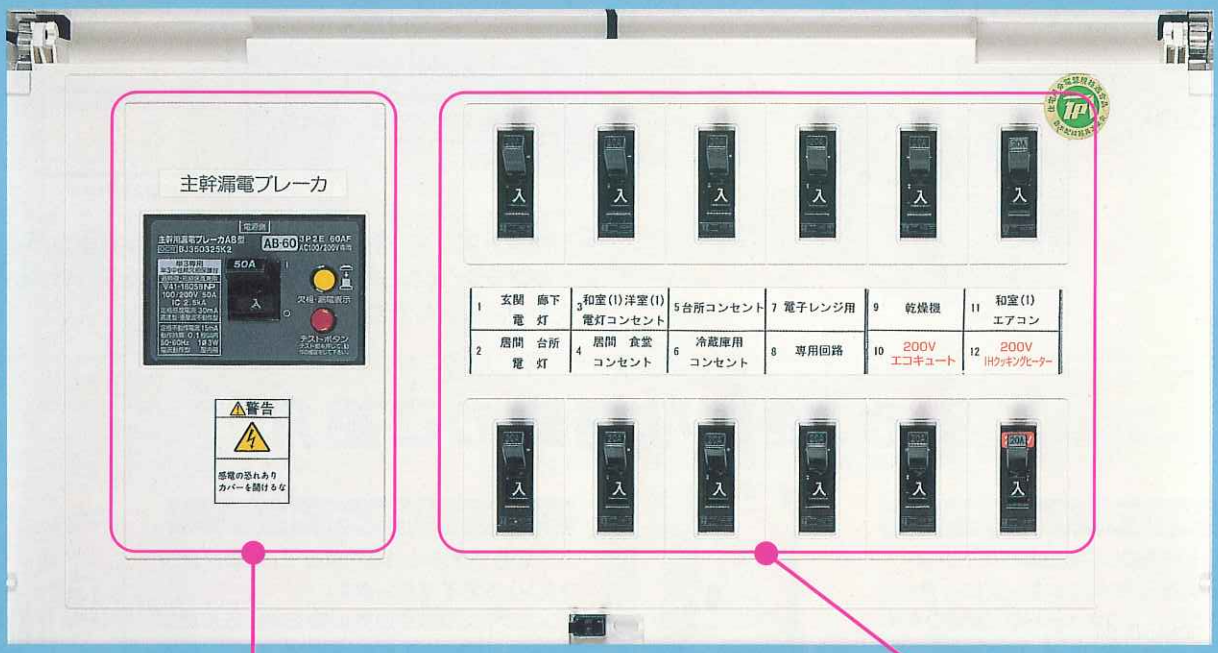
感電注意

アース線を必ず接続せよ

※警告表示は、(財)家電製品協会の「家電製品の安全確保のための表示に関するガイドライン」によって定められています。

# 分電盤は電気の見張り番！

私たちの快適な暮らしを支えてくれる電気。家庭に送られてきた電気は、分電盤をとおって各部屋に届けられます。分電盤には、漏電遮断器（漏電ブレーカー）、配線用遮断器（安全ブレーカー）が取り付けてあり、電気の安全をしっかりガードしています。万一の場合にそなえて分電盤がどこにあるのか、確かめておきましょう。




## 漏電遮断器（漏電ブレーカー）

感電や火災の原因となる漏電をすばやくキャッチし、自動的に電気を止め、電気事故を未然に防ぎます。長期間使用していると、使用環境などにより漏電遮断器が正しく作動しなくなることもあります。

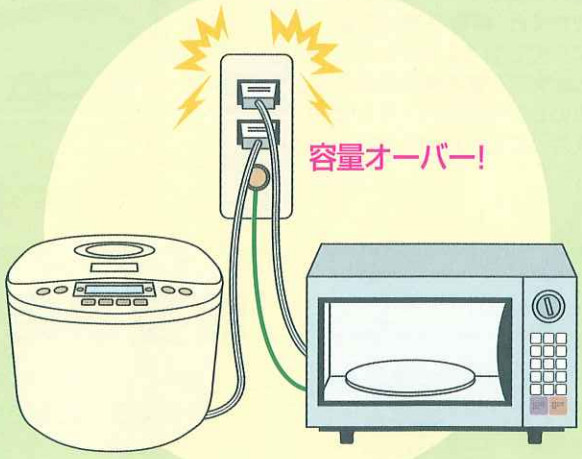
なお、漏電遮断器には、正しく作動するかどうかをチェックできるテストボタンがついています。ご家庭で定期的に確認をするようにしましょう。テストボタンを押しても作動しない場合は、お近くの電気工事店へご相談ください。

また、単相3線式の配線には、『中性線欠相保護機能付漏電遮断器』をおすすめします。

漏電している電気器具があると漏電遮断器が作動します。

## 配線用遮断器（安全ブレーカー）

電気の行き先（回路）ごとに、それぞれの容量の配線用遮断器がついています。たとえば、容量が20A（アンペア）の場合、コードがショートしたり、器具の使いすぎで20A（2,000W）を超える電気が流れると、その回路の遮断器が作動して電気をストップします。エアコン、電子レンジ、衣類乾燥機などの電気を多く使う器具は、専用回路にすることをおすすめします。




電気炊飯器10A（1,000W）と電子レンジ12A（1,200W）の合計で22A（2,200W）となり、配線用遮断器の容量20A（2,000W）を超えているので配線用遮断器が作動します。

## 電気の工事は電気工事店へ

電気の屋内配線工事は、「電気工事士」の資格をもった人が安全基準を守って工事をするように法律で決められています。漏電遮断器の取り付けやこわれたコンセントの取り替えなど、電気の工事が必要なときは、電気工事店に依頼してください。専用回路を増設する場合は、電力会社との契約内容が変わる場合がありますので、くわしくは電力会社におたずねください。

# 災害が起きたときは…

災害はある日突然やってきます。普段から災害時の備えや
心がまえをしておけば、いざというときにもあわてずにすみます。

## 自然災害にそなえ、電気の安全に努めましょう！

### アッ地震！ グラッときたときは

**スイッチを切って、プラグを抜いて**

地震のとき怖いのは火事。アイロン、ドライヤー、ストーブなどの熱を出す器具を使っているときは、プラグをコンセントから抜きましょう。



**避難するときは、漏電ブレーカーを切って**

地震で停電になっても、電力会社の設備に異常がなければ、再び電気は送られてきます。避難するときは電気の消し忘れなどによる事故を防ぐために、分電盤の漏電ブレーカーを切ってください。地震がおさまったら電気器具の安全をチェックしましょう。ガス漏れのおそれがある時には電気を使用しないようにしましょう。

### 台風がやってきた！

**アンテナなどをチェック**

屋外に設置されているアンテナや照明器具などが暴風雨に耐えられるか確かめましょう。屋内配線や電気器具が水にぬれてしまった場合は、使う前に必ず電力会社、または電気工事店などに点検してもらいましょう。

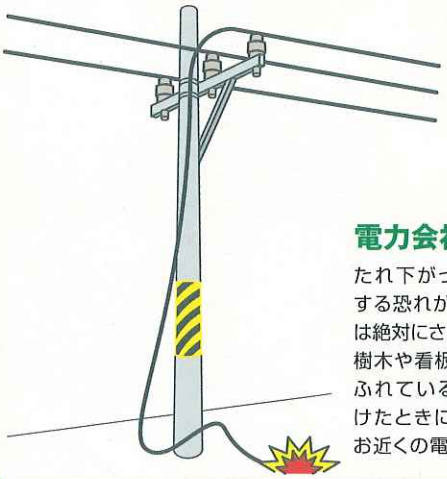
### ピカッ、ゴロゴロ雷だ！

**プラグを抜いて！**

落雷による影響で、電気器具が壊れたり、火災が発生することがあります。また、電話線を通じて雷が侵入し、電話機やモデムが故障することもあります。雷が鳴ったら、プラグはコンセントから抜き、電話線もモジュラージャックから抜くようにしましょう。

なお、雷に対応した分電盤もあります。分電盤に避雷器が内蔵されているため、電源線、アース線から侵入する雷サージを防ぎ、家庭の電気器具を守ってくれます。

### 切れた電線には絶対にさわらないで！



**電力会社へすぐご連絡を**

たれ下がった電線にさわると感電する恐れがあります。切れた電線には絶対にさわらないでください。また、樹木や看板、アンテナなどに電線がふれている場合も危険です。見つけたときには近づかないで、すぐ、お近くの電力会社にご連絡ください。

※日頃から、懐中電灯や携帯ラジオ、防災リュックなどを用意しておきましょう。
※停電によるパソコンのデータ消失などを防ぐには、UPS（無停電電源装置）などを設置しておくとよいでしょう。

## 快適な暮らしを支える電気
## あなたの家にも200V

快適住宅電化配線
シンボルマーク

新築・増改築の時には、パワフルな家庭用200V
機器が使えるよう、専用回路を設けましょう

**関西電気安全委員会　　関西電力株式会社**


古紙配合率70%再生紙を使用しています

企画・編集：電気安全全国連絡委員会
発行：©（社）日本電気協会
http://www.denki.or.jp

H19.7